



2026 年 1 月 15 日 (木) 第 8 回例会 2 月 5 日 (木) 第 9 回例会 合併号

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

第 8 回例会ならびにクラブ協議会

1 月 15 日は例会に続き第 1 回クラブ協議会を開催し、次年度の奉仕プロジェクトについて意見交換を行いました。当クラブが特に重視する「青少年奉仕」と「平和貢献活動」について以下のような意見がでました。これから、奉仕プロジェクト委員会を中心に具体的な事業計画を策定します。

【青少年奉仕】

●発達障害をもつ子供にサッカーを通じて支援活動

- 現状：
- ・小学校では発達障害等のある児童が分離状態。
 - ・センサリールーム(感覚過敏の子供たちも楽しめる施設)があるエディオンピースウイング広島で大会を開催することは平和にも繋る。

クラブの関与：

- ・大会のお手伝い
- ・広報活動

●次世代の育成・人材を増やす

- ・小学生～高校生を対象に金融に関する知識や情報（マネーリテラシー）の教育（派遣・セミナー）。
- ・ひきこもりや不登校生の居場所づくり。いきがい・目的・楽しみ方を一緒に模索する。

●自然の中で遊ぶことの大切さ

- ・自然の中で思いっきり遊べていない子供が多いので、大人と一緒に遊び、身体を動かすことでリーダーシップ等の学びを得てもらう。

●RYLA

- ・クラブが主催して 2 泊 3 日の合宿を行いリーダーシップを育成。

【平和貢献活動】

- ・長崎・沖縄とのロータリークラブと合同で何ができるのではないかな。

- ・平和の話になるとどうしても悲惨な戦争体験等の暗いイメージが主張されがちだが、平和の定義として明るいイメージへの展開もありなのではないか。
- ・子供（小学生～高校生）たちに平和についてのディベートする機会を設ける。（例）原爆投下は善?悪?
- ・おりづるタワー →ダークツーリズムになってきているので、明るい平和・未来へのマインドチェンジをすすめる。他にもおりづるタワーに携わった奉仕活動。
- ・インターアクトクラブの支援
- ・心の平和を広める。子供が大人の価値観に触れる機会を増やす。女性の社会進出。

第 9 回 例会 会長 時間



ロータリーは自己研鑽の場です。みなさんこんばんは。

まず、「ガバナー月信」2月号と、「ロータリーの友」2月号に、私の寄稿が掲載されましたのでご紹介します。

「ガバナー月信」は、11月21日に開催した認証状伝達式の報告をいたしました。また、「ロータリーの友」記事のテーマは「今こそクラブ奉仕を！」です。当クラブは、会員が人間として職業人として自己教育と切磋琢磨を行って成長することこそロータリークラブの本質であると位置づけて、その主要な場である「クラブ奉仕」を重視しています。そして、活発な「クラブ奉仕」と、それに伴う会員の成長は、必ず会員の満足度を高めると考えています。「クラブ奉仕」はロータリーが定める「五大奉仕部門」のひとつですが、近年、その意味と意義が伝承されにくくなっているように思い、この記事を書きました、是非ご覧下さい。

次に、「ロータリー手帳」についてです。ロータリー年度が始まる7月からの手帳で、情報も掲載されています。紙の手帳を使わない方も、一度はご購入されてはいかがでしょうか。

次に、次年度準備についてです。既に次年度準備に関するスケジュールは皆さんにメールしており、それに基づいて、今は各委員会毎に会長幹事を招待して委員会を開催していただいています。初めての皆さんが多いので、スケジュールにこだわらず、ゆっくり、問題や疑問があれば解決しながら進めていきましょう。

最後に、会員候補者のご紹介をお願いいたします。会員増強は、会員増強委員会だけの責務ではなく、私たち会員全員の責務です。当クラブは、例会頻度や会費などを低減し、また、定められている要件以外は問わない方針で会員を募っています。必要なのは、自己教育を行って、少しでもいい人間、いい職業人、いい奉仕人になろう、という「志」だけです。そのような方がいらっしゃったら、積極的にご紹介ください。

以上で会長時間を終わります。



広島新世代RC認証状伝達式報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 広島新世代RC 会長
諏訪 昭浩

去る11月21日、広島新世代RCの認証状伝達式ならびに祝賀会を、例会会場である広島市中区のおりづるタワー5階 Future Presentation Room にて開催しました。

当地区からは、土肥ガバナーはじめ、諏訪、大之木、脇、井内、上田バストガバナー、脇ガバナーエレクト、小根森ガバナーノミニーにご参加いただき、また、他地区からは、RID2580嶋村バストガバナー、RID2690金谷ガバナーエレクトにも駆けつけていただきました。これらのご来賓を含め、アメリカを含め北は北海道、南は沖縄まで、国内外の12地区42クラブ、76名の方々にご参加いただき、まさにロータリーの友愛を大変うれしく感じる賑やかな会になりました。

認証状伝達式では、会場に設置された国内最大級の12Kスクリーンを駆使した当クラブのオープニング動画に続き、新クラブのアドバイザーである土肥ガバナーから認証状をいただき、土肥ガバナーの設立における多大な貢献に対して感謝状を差し上げました。続いて、大之木バストガバナー、嶋村バストガバナーにご祝辞をいただきました。

土肥ガバナーには、最初にご相談申し上げてからこれまでの設立経緯を明確に述べていただきました。シニアリーダーとしての会員増強に対するお覚悟を感じる大之木バストガバナーのご祝辞では、「独善ではなく孤立でもなく、ロータリーの友愛を生かした光明となって当地区の行く手をあかあかと照らす存在になることを願う」という、心引き締まるお言葉をいただきました。設立のきっかけとなったと言っても過言ではない嶋村バストガバナーからは、私と酒を酌み交わした過去、「人を育てる」という発想に共感したという、ご支援いただいた方々を代表するかのような温かいお言葉をいただきました。

祝賀会では、2年前から新クラブ設立に関して相談に乗っていただいている井内バストガバナーの、「ロータリーに一石を投じてほしい」という乾杯のご発声に続き、広島出身のミュージシャンで柳ジョージとレイニウッドで活躍された上綱克彦さんに演奏を披露していただきました。



当クラブはスポンサークラブを持たず、固定事務所や例会での飲食を省いて固定費を最小化し、会費を低く抑さえました。五大奉仕全てにまんべんなく取り組むのではなく、まずは人を育てるための「クラブ奉仕」を基本に、1932年の手続要覧に明記されているように、ロータリアンが自己研鑽によって良い人間、良い職業人になろうとする義務を果たすことを前提に、それをクラブが最大限サポートするというクラブの義務を果たすという、近年伝達されにくくなったロータリーの根幹を成す思想を実現できればと思っています。そして、その時代の問題解決の主役となるべき新世代を育てる「青少年奉仕」と、広島に縁があるクラブとして平和貢献活動を特に重視して参ります。

こうした新しい試みは、決してこれまでのやり方や考え方を否定するものではなく、会員減少が止まらないロータリーにおいて、新しいことも試してみようではないか、というだけのことです。ロータリーでは仲間同士の友愛が大切であり、設立にあたってはこのことを最も重視してきましたので、これまで所属していたクラブにご迷惑をかけてはならないという配慮から、事前に十分な説明を試み、いわゆる会員の引き抜きは一切いたしませんでした。しかし、設立方法が多くの前例と異なることもあり一部誤解が生じたせいで信じがたい逆風が吹き、一時はロータリーの友愛の存在を疑いたくなるような非常に辛い経験もいただきましたが、これは私の不徳のいたすところであると大いに反省しております。

どうか、広島新世代ロータリークラブとその会員を、ロータリーの仲間として温かく迎えていただきますよう、創立会長として心からお願い申し上げます。

今こそクラブ奉仕を！

広島新世代 諏訪 昭浩

国際ロータリー（RI）とロータリー財団は近年、世界で大規模な対外的奉仕活動を展開しており、まるで単なる奉仕団体のようには見えません。それはそれで大変意義があり、私たち会員も最大限協力していくべきですが、もう一つ、私たちが忘れてはならないことがあります。

それは、ロータリー運動が本来「自己教育」によって、会員が職業人として、人間として成長することを目指すものである、ということことです。例えば英語版で発行された「1932年手続要覧」の「クラブ奉仕」をひもとけば、会員が自らを成長させ、ひいてはクラブを発展させ、他の会員の成長を助けることが責務であると述べています。しかし、長い歴史の中で、このロータリーの本質の伝承は薄れ、多くの先達の嘆きへとつながっています。

世界の会員数は120万人ほどで推移する一方、日本の会員数はこの30年で約40%も減少しました。RIの調査によれば、入会3年未満の退会が多く、その原因についても言及してはいますが、つまりは「面白くないから」ということに尽きるのではないかと考えています。では、なぜ面白くないのか？ それは自分のためになっている、という感覚が得られていないからではないでしょうか。

もしそうだとするならば、会員は「クラブ奉仕」にもっと積極的に取り組み、成長を実感できようようにすること。そしてクラブがそれを支援することが、会員の満足度を高める最良の方策だと考えます。

このような思いから、会員が自分自身のためになっているという実感を持ち、そこから生まれた「奉仕の心」を世の中に還元できるクラブの新設が必要だと考え、昨年9月に「広島新世代ロータリークラブ（RC）」を立ち上げました。「社会奉仕に関する1923年の声明（決議23-34）」では、社会奉仕活動を「ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験」との記述がありますが、わがクラブが「クラブ奉仕」を重視することも、同じように「実験」です。決して新しい試みではありませんが、失われつつあるロータリーの本質への回帰を目指しています。この実

験がどうなるか、全国の皆さんも、ぜひ温かく見守っていただければと思います。

（第2710地区 広島県 不動産賃貸）

第9回例会次第

- ・開会点鐘
- ・国歌斉唱（各月第1例会のみ）
- ・ロータリーソングの唱和 「我等の生業」
- ・「四つのテスト」唱和（各月第1例会のみ）
- ・来訪ロータリアン及び来客の紹介
なし

- ・会長時間
- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・委員会報告
- ・例会プログラム

会員卓話「私の大事にしていること」拜郷拳人さん 諏訪昭浩さん

- ・閉会点鐘

第9回例会幹事報告

- ・次年度の委員会状況の報告
- ・次回例会は2月19日第2木曜日午後6時から、ここ「おりづるタワー」にてクラブ協議会を開催します。お間違えの無いようにしてください。
- ・ロータリーの友2月合が届いていますのでまだ手元にない方はお持ち帰りください。P67に諏訪会長の「今こそクラブ奉仕を」。というコメントが記載されていますので読んで下さい。

第 9 回 例 会 出 席 報 告

本日の例会 参加会員数： 22 名中 15 名（うちオンライン参加者 4 名）【MU 含まない出席率 71%】
来賓・来客： 0 名（うちオンライン参加者 0 名）

委 員 会 報 告

なし

ス マ イ ル B O X

- ・川口茂博さん 1,000 円。（名札を忘れてしまいました。）
- ・木坂智美さん 1,000 円（体調不良のため欠席します。ゴルフ同好会の案内をします。）
- ・諏訪昭浩さん 1,000 円。（名札を忘れてしまいました。）

皆さんありがとうございました！

プ ロ グ ラ ム

会員卓話：「私の大事にしていること」

前回は引き続き一人 5 分で卓話をしていただきました。

拜郷拳人さん



（後日掲載します）

諏訪昭浩さん



僕の大事にしていることは、生き方です。それは、自分に数少ないルールを課して一貫した生き方をすることだけが最終的に満足感を与えてくれると思うからです。礼を尽くして主張すること、前向きでいること、人を幸せにすること、嘘はつかないこと、できるだけシンプルにすること。この中で、礼を尽くして主張することについてお話しします。主張は摩擦の元になりますから、組織の中では主張せずに黙っていることが得策なのかもしれません。しかし、組織の中で誰も発言しなければ、組織成長の種は埋もれてしまって未来真っ暗になる。問題は、主張の方法だと思います。相手の立場を考えると失礼のないように自分の考えを表明する、こういう主張でなければ摩擦を起こすだけです。僕がこのルールから逸脱して、事なかれ主義の沈黙を選んだら、僕はきっと、全く人生に満足していないと思います。